

船舶事故調査報告書

平成21年9月3日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 長 後 藤 昇 弘
委員 楠 木 行 雄
委員 横 山 鐵 男（部会長）
委員 山 本 哲 也
委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（死亡推定時刻は平成21年3月1日11時00分ごろと検案された。）
発生場所	不明（遺体発見場所は、岩手県山田湾 ^{たらいしま} 盃島灯標から038° 1,200m付近（概位 北緯39° 27.9′ 東経142° 00.3′）であった。）
事故調査の経過	平成21年3月4日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{だいごろう} 大五郎丸、0.53トン IT3-26820（漁船登録番号）、個人所有 4.60m×1.20m×0.44m、FRP ガソリン機関（船外機）、5kW、昭和53年10月31日
乗組員等に関する情報	船長 男性 65歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 平成7年5月26日 免許証交付日 平成16年7月20日 （平成22年5月25日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成21年3月1日10時00分ごろ、船長1人が乗り組み、海草のまつもを採取する目的で、岩手県山田町大浦漁港を出港した。16時ごろ、本船の帰港が遅いことを心配した家族や知人が本船所属の漁業協同組合に捜索を要請し、同組合が海上保安庁に通報した。同組合所属の漁船や巡視船艇等による捜索の結果、翌2日06時05分ごろ、岩手県山田湾の黒埼から北北西方500m付近で本船を、06時10分ごろ、本船から南南西方600m付近で救命胴衣を着用してうつ伏せ状態の船長の遺体を僚船が発見した。 死亡推定時刻は、3月1日11時00分ごろ、直接の死因は、溺死と検案された。 本船には、損傷がなく、船内には、海草のまつもが一握りほど採取されていた。

気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東、風力 2 海象：平穏	
その他の事項	船長は、持病もなく、日ごろ体調不良を訴えてはいなかった。 船外機のプロペラは海中に下げられ、機関が止まった状態で漂流していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 なし なし 死因は溺死であった。 溺死に至ったのは、落水によるものと考えられる。 救命胴衣を着用していた。 船体に損傷がなかった。 船長が落水したときの状況については、明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が岩手県山田湾において、海草採りに出漁中、船長が落水したため、発生したものと考えられる。	